

古橋宜昌の EX プランニング実践塾 第6回

■ 前回の課題の確認

まず始めに前回の課題の敷地条件及び施主の要望について確認しておきましょう。
敷地条件は東側に道路がある東入りで、道路と敷地の高低差は 150mm でした。

主な施主の要望は

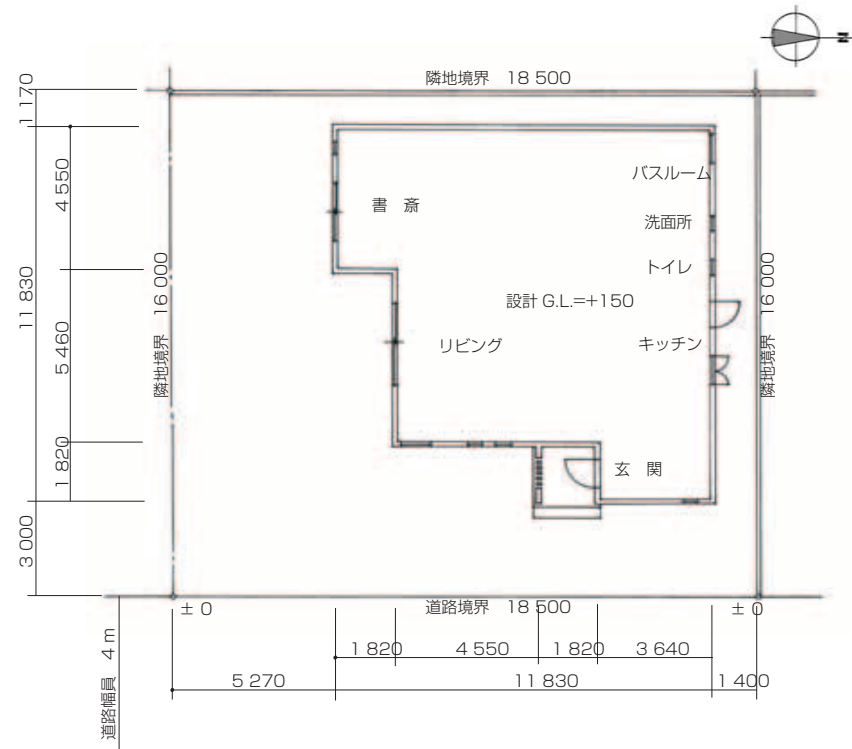
- ・ 駐車場は 2 台 + 予備 1 台。
- ・ 2 台分の自転車置き場。
- ・ リビングと書斎をつなぐウッドデッキ。

などでした。

3 台の駐車場を確保しなくてはならない課題でしたが、予備の駐車スペースをどのように処理するかがこの課題の重要なポイントとなります。

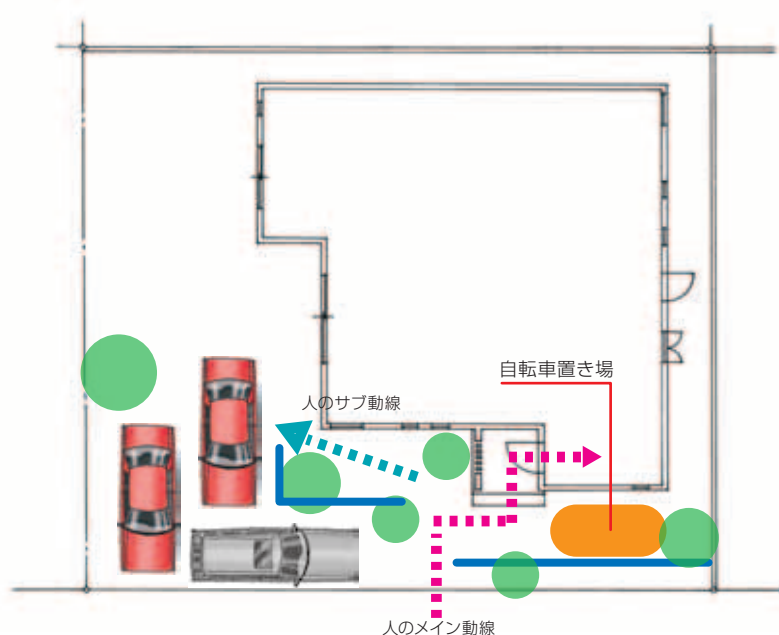
みなさんはどのようなプランでまとめられましたか？

今回もまずはゾーニング図を使って基本的な考え方や、動線計画を解説していくことにしましょう。



■ ゾーニング

敷地の南東角部分を使って駐車スペースを考えてみます。施主の車 2 台（赤い車）は道路に対して直角駐車として、来客用の駐車スペースは道路に対して平行とする L 型駐車をベースにします。この時、アプローチまわりに植栽スペースを出来るだけ確保したいので、来客時に施主の車を 1 台だけ後退させ、その前のスペースを利用して車をとめる案で基本計画を立ててみることにします。



Furuhashi Norimasa



古橋 宜昌
ふるはし のりまさ

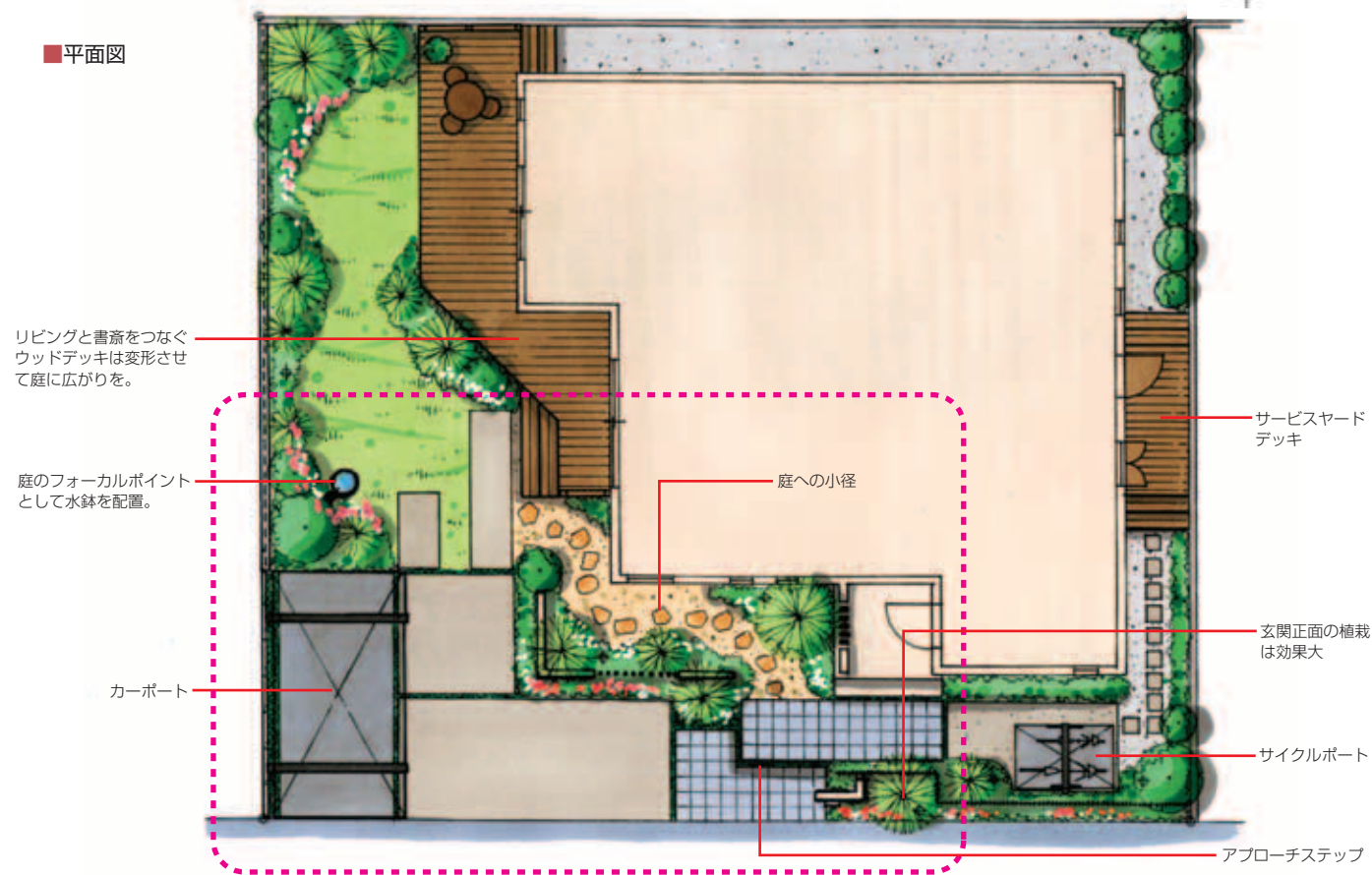
生年月日：1958年4月6日
東京電機大学理工学部建設工学科卒。
有限会社エクスプランニング代表取締役・エクステリア&ガーデンアカデミー東京校長一級建築士・一級造園施工管理技士・一級土木施工管理技士。
JAG日本ガーデンデザイナーズ協会会員・英国王立園芸協会会員・同推奨品認定委員・大手ハウスメーカーのエクステリア部門を経て、1997年、日本では珍しいエクステリア&ガーデンの設計業務を請け負う会社「エクスプランニング」を設立。
個人住宅のエクステリア&ガーデン設計は年間500棟を越え、その設計事例は多くのガーデニング専門誌等で紹介されている。
ホテルオークラで開催されたガーデニングショーでは「イギリス大使夫人の庭」のデザインと施工を担当。設計業務の傍ら専門学校や英国王立園芸協会などのセミナーの講師、デザインコンテストや「TVチャンピオンガーデニング王選手権」の審査員なども務める。

ホームページアドレス <http://explanning.m78.com>

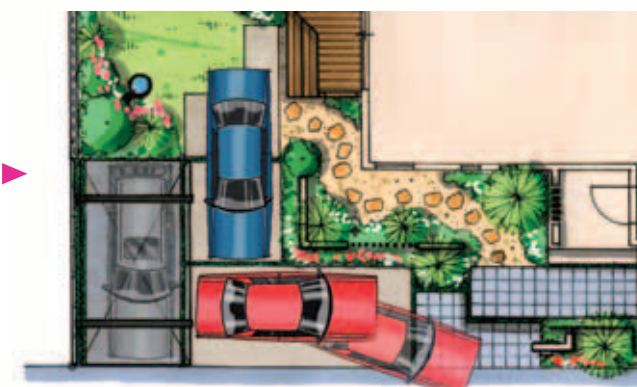
■ 模範プラン

それではゾーニング図をもとに作成しました模範プランをご覧ください。
駐車レイアウトを平常時と来客時で変えて計画している点がポイントとなっています。

■ 平面図



平常時は車 2 台を並べて駐車します。



来客時は一台を後方へ下げて、お客様の車を平行に駐車します。

■ 立面図



■ イメージパース



勿論、このプランが正解というわけではありませんので、あくまでもプランの一例としてご覧いただき
ご自分で考えられたプランと比較して、各ゾーンのバランスや納まりなど、実邸を設計する際の参考にしてください。